

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和4年11月25日（金）

### 2 確認箇所

K4タンクエリア

### 3 確認項目

K4タンクエリアの現況

### 4 確認結果の概要

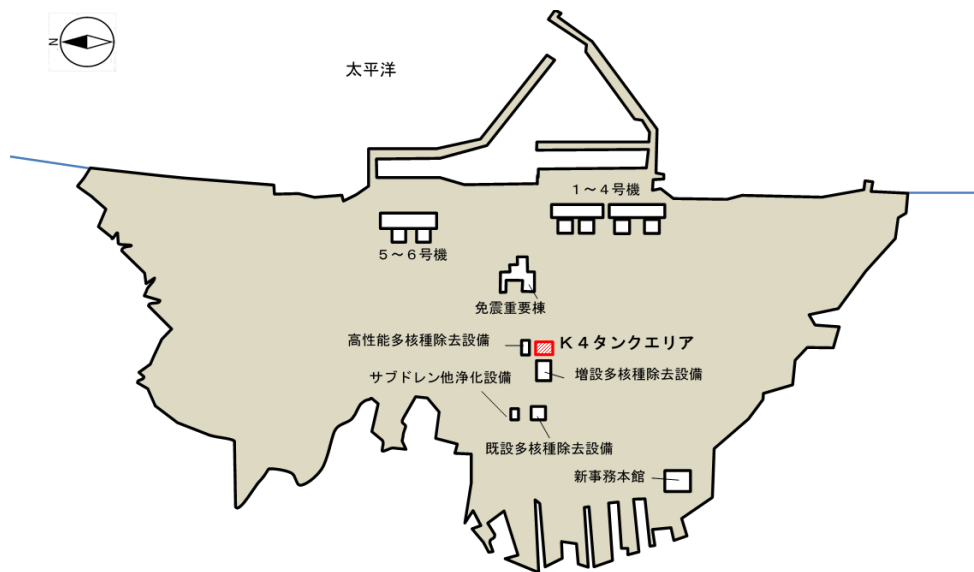
本年8月4日から多核種除去設備(ALPS)等処理水希釈放出設備及び関連施設設置工事が行われている。測定・確認用設備として、K4エリアタンク(計約30,000m<sup>3</sup>)を転用し、A～C群、各10基(1基約1,000m<sup>3</sup>)とし、タンク群毎に①受入工程、②測定・確認工程、③放出工程をローテーションしながら運用することとしている。

K4タンクエリアにおいて、ALPS処理水を受入・循環・移送するための配管の設置工事が行われていることから、前回に続き状況を確認した。(前回確認：令和4年10月5日) (図1、写真1)

- ・配管と配管を融着<sup>(※1)</sup>により接続する作業が実施されていた。(写真2)  
施工上の留意点として、以下を確認した。
  - ✓ 融着時の設定入力にバーコードを用いていた。
  - ✓ 加熱時間、冷却時間等を施工記録簿に記録するとともに、施工部材にも記載していた。
  - ✓ 融着面への異物の混入を防ぐため、エタノールを染み込ませたペーパータオルで融着面の清掃をしていた。
  - ✓ その他、施工要領書に記載の手順で作業が行われていることを確認した。
- ・K4タンクエリアの北東部において、ALPS処理水貯留タンク等からALPS処理水を受け入れるため及びALPS処理水を希釈放出設備に移送するための配管・弁の設置工事が行われていた。(写真3)
- ・ALPS処理水をタンク間で循環<sup>(※2)</sup>するための配管の敷設が進捗していた。(写真4)

※1 ALPS処理水希釈放出設備の配管は、主にポリエチレン管を用いることとしており、配管と配管の接続は熱を加えて融着している。

※2 10基のタンクを連結し、ALPS処理水を循環攪拌により均質化した上で測定のための試料を採取することとしている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
K4タンクエリアの概観



(写真2-1)  
配管の融着作業の状況



(写真 2-2)  
配管を挿入するソケット

設定条件が記録されたバーコードが貼付されている



(写真 2-3)  
融着後の配管

加熱時間、冷却時間の部材への記録



(写真 3-1)  
K4 タンクエリアの北東部における  
基礎工事の状況  
(10月 5 日撮影)



(写真 3-2)  
K4 タンクエリアの北東部における  
配管・弁の設置工事の状況  
(11月 25 日撮影)



(写真 4)  
タンクとタンクを接続する循環配管  
の設置状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。